

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	埼玉東萌美容専門学校
設置者名	学校法人小池学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数	省令で定める基準単位数	配置困難
衛生専門	美容科	夜・通信	48	7	
		夜・通信			
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
---

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	埼玉東萌美容専門学校
設置者名	学校法人小池学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
---

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	元金融機関支店長	2025.6.5～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。	組織運営体制へのチェック機能
非常勤	元小学校校長	2025.6.5～3年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議員会の終結の時まで。	組織運営体制へのチェック機能
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	埼玉東萌美容専門学校
設置者名	学校法人小池学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>				
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>美容師養成施設の授業課目は「美容師養成施設の指定規則」及び「美容師養成施設の教科課程の基準」に各授業課目の単位数及び授業の目的や内容について示されているので、その基準に基づき授業計画書(シラバス)を作成している。</p> <p>具体的には、授業開始前年度の 11～12 月にかけて教務担当者と授業担当者が基準の内容を確認し、授業担当者が 1 月末までに作成する。作成された授業計画書(シラバス)を教務担当者が 2 月末までに確認作業を行い、校長の承認を経て、3 月末までに確定する。2026 年度についても学生には 4 月当初のオリエンテーションにおいて公表するとともに、4 月当初に本校ホームページで公表している。</p>				
授業計画書の公表方法	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>			
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>				
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修成果の評価については、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準の通り、定期試験、授業受講の態度、成果物(技術点、提出課題)等の評価を点数化した上で、学生にあらかじめ示した評価判定基準に基づき、厳格かつ適正に単位の授与および履修の認定を行っている。評価判定基準は下記の通りとする。可否については、60 点以上(C 評定)を合格とし、59 点以下(D 評定)は不可とする。</p> <p>評価判定基準</p>				
評価(点)	100～80	79～70	69～60	59 以下
評 定	A	B	C	D
<p>また、学則第 10 条に規定している出席時数の基準を満たしていなければ、その教科科目の評価を受けることはできない。具体的には所定授業時間数の 5 分の 4 に達していない者は評価を受けることができない。</p> <p>以上の通り、出席時数の基準を満たし、評価判定基準により C 評定以上の成績を修めた者に対し、単位修得の認定を行う。</p>				

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

成績評価における客観的な指標は、当該年度で履修した課目の成績評価を点数化し、履修課目の合計点の平均により指標となる数値を算出する方法により行う。

客観的な指標の算出方法は、2026年度においては、4月当初のオリエンテーションにおいて配付した学生生活心得により公表するとともに、4月当初にホームページで公表している。

上記の方法により算出した指標の数値をもとに、前期分は9月末、後期分及び当該年度分は2月末までに成績集計表を作成し成績分布状況の把握を行うとともに、学生の学習達成度の指導や成績優秀者の選考に活用するなど適切に実施している。

客観的な指標の算出方法				
$\text{指標の数値} = \frac{\text{当該年度履修課目合格点}}{\text{当該年度履修課目数}}$ (平均点)				
学科名	美容科	学年	●年	学生数 ◆名
成績の分布				
指標の数値 (平均点)	100～80	79～70	69～60	59以下
評 定	A	B	C	D
人 数	▲名	○名	■名	0名

下位 1/4 に該当する人数 ◇名

下位 1/4 に該当する指標の数値 ▽点以下

(ただし、下位 1/4 を算出するため同点の場合、小数点第 1 位で判断)

客観的な指標の算出方法の公表方法	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
------------------	---

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

卒業認定は、本校学則第 22 条第 2 項に定める、所定の 2 年の課程を修了した者、具体的には、学則に定める授業課目の単位の修得、出席時数の基準、学納金の納付等、卒業に必要な要件のすべてを満たしている者について、毎年 2 月に行われる卒業認定会議での協議を経て、校長が認定を行う体制が整っている。

卒業認定の方針としては、美容師国家資格取得のために必要な知識及び技術力を修得し、本校学則第 1 条 (目的) に掲げる「実践力のある美容師」として基本となる能力を身に付けた者に「専門士」の称号を授与するとともに卒業の認定を行う。

卒業認定については、2026 年度においては 4 月当初のオリエンテーションにおいて配付する学生生活心得により学生に公表するとともに、4 月当初に本校ホームページで公表している。

卒業の認定に関する方針の公表方法	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
------------------	---

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	埼玉東萌美容専門学校
設置者名	学校法人小池学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
収支計算書又は損益計算書	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
財産目録	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
事業報告書	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
監事による監査報告（書）	<a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	67単位 (2010時間)	19単位		48単位		
	夜						
学生総定員数		学生実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
120人		107人	0人	6人	9人	15人	
(備考) (任意記載事項)							

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>(概要)</p> <p>美容師養成施設の授業科目は「美容師養成施設の指定規則」及び「美容師養成施設の教科課程の基準」に各授業科目の単位数及び授業の目的や内容について示されているので、その基準に基づき授業計画書（シラバス）を作成している。</p> <p>具体的には、授業開始前年度の11～12月にかけて教務担当者と授業担当者が基準の内容を確認し、授業担当者が1月末までに作成する。作成された授業計画書（シラバス）を教務担当者が2月末までに確認作業を行い、校長の承認を経て、3月末までに確定する。2026年度についても学生には4月当初のオリエンテーションにおいて公表するとともに、4月当初に本校ホームページで公表している。</p>
成績評価の基準・方法
<p>(概要)</p> <p>学修成果の評価については、授業計画書に記載された成績評価の方法・基準の通り、定期試験、授業受講の態度、成果物（技術点、提出課題）等の評価を点数化した上で学生にあらかじめ示した評価判定基準に基づき、厳格かつ適正に単位の授与及び履修に認定を行っている。評価判定基準は下記の通りとする。</p>

合否については、60 点以上（C 評定）を合格とし、59 点以下（D 評定）は不可とする。

卒業・進級の認定基準

（概要）  
 卒業認定は、本校学則第 22 条第 2 項に定める、所定の 2 年の課程を修了した者、具体的には、学則に定める授業課目の単位の修得、出席時数の基準、学納金の納付等、卒業に必要な要件のすべてを満たしている者について、毎年 2 月に行われる卒業認定会議での協議を経て、校長が認定を行う体制が整っている。  
 卒業認定の方針としては、美容師国家資格取得のために必要な知識及び技術力を修得し、本校学則第 1 条（目的）に掲げる「実践力のある美容師」として基本となる能力を身に付けた者に「専門士」の称号を授与するとともに卒業に認定を行う。  
 卒業認定については、2026 年度においては 4 月当初のオリエンテーションにおいて配付する学生生活心得により学生に公表するとともに、4 月当初に本校ホームページで公表している。  
 進級認定は、第 10 条に定める学習の評価に基づき 1 年次の課程を修了した者、具体的には、学則に定める授業課目の単位の修得、出席時数の基準、学納金の納付等、進級に必要な要件のすべてを満たしている者について、毎年 2 月に行われる進級判定会議での協議を経て、校長が認定を行う。  
 進級認定の方針は、美容に関する体系的な知識と技術を修得した者に進級の認定を行う。

学修支援等

（概要）  
 学年定期試験、検定試験の結果を踏まえ、成績のすぐれない学生に対し、補習授業を実施している。1 年次 4～5 回程度、2 年次 4～7 月週 2 回程度、9～3 月毎日実施。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
25 人 (100%)	0 人 ( 0%)	25 人 ( 100%)	0 人 ( 0%)

（主な就職、業界等）  
 主に美容室等の美容業界

（就職指導内容）  
 1 年次より就職指導担当者による個別面談を行い、本人の希望、資質等を把握した後、応募企業決定。面接指導及び応募書類等の作成指導を行う。  
 美容業界・企業の方に来校して頂き、就職活動についての心構えや業界研究についての講演（セミナー）を実施している。また、企業の求人担当者による合同会社説明会を開催している。

（主な学修成果（資格・検定等））

2025 年度			
資格・免許等の名称	受験者数	合格者数	合格率
<b>【国家資格】</b>			
美容師国家試験 昼間課程(令和 8. 3. 31 発表)	25	22	88.0%
美容師国家試験 通信課程(令和 7. 9. 30 発表)	19	13	68.4%
美容師国家試験 通信課程(令和 8. 3. 31 発表)	3	3	100%
<b>【その他の資格・免許等】</b>			
日本エステティック協会 認定フェイシャル・ボディエステティシャン	4	4	100%
日本エステティック協会 認定フェイシャルエステティシャン	2	2	100%
日本メイクアップ連盟メイクアップ検定 3 級	52	44	84.6%
日本メイクアップ連盟メイクアップ検定 2 級	5	3	60.0%
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
90 人	16 人	17.8%
(中途退学の主な理由) 進路変更等		
(中退防止・中退者支援のための取組) 入学前プレカレッジの実施 クラス担任による本人との個別面談及び保護者との面談実施		

②学校単位の情報

a) 「学生納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	100,000 円	399,000 円	345,000 円	施設費 133,000 円 実習費 212,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己点検評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>		
第三者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>卒業生、地域住民、企業等が委員として参画する学校評価委員会を設置し、本校が実施する自己評価に基づいて、学校関係者評価を実施する。委員会の結果については、報告書に取りまとめた後、校長に提出され、ホームページ上で公表する。</p> <p>委員会の評価結果を踏まえた改善方策については、校長を責任者としてその改善内容に応じて適切な時期に行う。具体的には、緊急性の高い事案については速やかに改善に取り組み、当該年度内に行うものについては年度内(3月末)までに改善を完了する。また、次年度以降あるいは中長期の計画に基づき行うものに関しては、実施時期を含む実施計画を作成し改善に取り組む。</p> <p>評価する項目は①教育理念・目的・育成人材像等、②学校運営、③教育活動、④教育成果、⑤学生支援、⑥教育環境、⑦学生募集と受け入れ、⑧財務、⑨法令等の遵守、⑩社会貢献の10項目である。</p> <p>委員会は定数5名で、関連業界関係者、教育に関し知見を有する者、卒業生、地域住民代表等により構成される。</p>		
第三者評価の委員		
所属	任期	種別
株式会社 Raise 代表取締役	2026年4月1日～ 2028年3月31日	関連業界関係者
武蔵野星城高等学校 校長	2026年4月1日～ 2028年3月31日	教育に関し知見を有する者
在校生保護者	2026年4月1日～ 2028年3月31日	在校生保護者
卒業生代表	2026年4月1日～ 2028年3月31日	卒業生
地域住民代表	2026年4月1日～ 2028年3月31日	地域住民
第三者評価結果の公表方法		

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
(備考) 第三者評価については未実施。

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) <a href="https://www.toho-beauty.jp/information">https://www.toho-beauty.jp/information</a>
--